

「下水道管更生技術施工展2015岡山」 倉敷市で開催

篠田 康弘

SHINODA Yasuhiro

(公社)日本下水道管路管理業協会
常務理事



1. 久しぶりに秋晴れの下で開催

さる10月22日(木)に表記第15回施工展が倉敷市の児島下水処理場で開催された。中・四国支部では平成19年の松山に続いて3回目の開催となる今回は、近年天候に恵まれなかったのと相違し、まさに秋晴れの空の下での開催となった。

本年は、下水道法も大きく改正され、下水道管路の点検が義務付けられるなど、維持修繕基準が創設され、下水道管路管理も新時代に突入し、大きな注目を集めている。また、更生工法も多様なニーズに応えるべく技術開発が進められ、工法の技術革新が進展している。このような中での施工展の開催となり、出展数も昨年の29団体から35団体へと拡大するとともに、来場者も1,438名と大きく伸び盛大な展示会となった。

主催は当協会本部及び中四国支部で、今回は国土交通省中国地方整備局、同四国地方整備局、岡山県、倉敷市、中国四国地方下水道協会、(公社)岡山県下水道公社、(公財)日本下水道新技術機構の後援を得ることができた。特に地元倉敷市の手厚いご協力により、会場の借用や市議会議員を始めとする地元市民の来場もあり、にぎやかなものとなった。さらに、支部の集客努力により香川、徳島、愛媛、高知、山口と5県の自

治体職員を乗せた4台のシャトルバスを運行することができ、遠方からの来場も迎えることができた。

2. デモ施工・展示説明

開会式は、ミス日本水の天使の柴田奈美さんに司会を引き受けていただき、華やいだ中で多くの観客の見守りの中で進められた。来賓としては、国土交通省中国地方整備局の建政部長、岡山県土木部都市局長、倉敷市副市長、倉敷市議会市民環境委員長などがご出席され、それぞれの挨拶に引き続きテープカットが行われた。その後来賓方がすべてのブースを見回すなか、いよいよ実演開始となった。

出展団体を分類別に示したのが表-1で、管きょ更生・補修・改築技術が中心であるが、関連技術としての取付け管穿孔ロボットを始め、防食やマンホール、

表-1 分類別出展団体

分類(団体数)	計【35】	出展団体名(協会等は省く)
管きょ更生・補修・改築	【15】	EX・ダンビー、EPR工法、ASS工法、FRP内面補修工法、FFT工法、エポフィット工法、オールライナー、カナフレックス工法、3SICP技術、日本インシチュフォーム、日本SPR工法、日本スナップロック、パルテム技術、光硬化工法、ポリエチレンライニング工法
穿孔ロボット	【2】	(株)南陽、(株)北菱
コンクリート防食・被覆	【1】	クリスタルライニング工法
マンホール・蓋改築・補修	【4】	MR ² 工法、MLR、セーフティフラット工法、日之出水道機器(株)
管内洗浄・清掃	【1】	兼松エンジニアリング(株)
調査・点検・診断・解析等	【4】	管清工業(株)、(株)カンツール、(株)キュー・アイ、ペンタフ(株)
安全衛生管理	【5】	阿南電気(株)、イービストレード(株)、重松製作所、新コスモス電機(株)、理研計器(株)
公的団体	【3】	倉敷市、児島商工会議所、(公社)日本下水道新技術機構



写真-1 開会式(テープカット)

さらには調査等技術や安全衛生管理も多く出展され、管路管理全般の展示会の様相となっていた。実演は、1団体15分から30分程度の枠を設け順番に各ブースを見舞われるように企画した。今回は出展数も多いことから、ガイドツアーとして、午前午後それぞれ3つのグループを設け、ガイドの案内で効率的に各工法分類をくまなく見れるような工夫もした。

この他、震災対策としてのマンホールや管口の耐震化技術についても自治体のニーズが強いことから、耐震技術の6工法にもパネル展示という形で参加していただいた。さらに岡山市からは「桃太郎」、広島市からは「広島カープ」、香美市からは「アンパンマン」などを図化したマンホール蓋を展示していただいた。



写真-2 デザインマンホール蓋の展示



写真-3 「ジーンズの町」倉敷をデザインした蓋

3. 講演会

併催行事として下表（敬称略）に示すような講演会を水の天使の柴田さんの司会の下、処理場内会議室にて行った。今回は下水道法の改正についての説明もあったことなどから、講演会は立ち見も大勢出るなど超盛況となった。

- ・『改正下水道法における維持修繕基準と新たな事業計画について』

国土交通省水管理・国土保全局下水道部

下水道事業課企画専門官…………… 本田 康秀 氏

- ・『岡山県の下水道状況について』

岡山県土木部都市局都市計画課下水道班

総括副参事…………… 森 隆之 氏

- ・『倉敷市の改築事業について』

倉敷市環境リサイクル局下水道部下水建設課

課長補佐…………… 藤井 孝 氏



写真-4 講演会の様子



写真-5 来賓内覧

表－２ 施工展開催実績

回数	開催都市	開催場所	開催日	出展数	入場者数
第1回	和泉佐野市	りんくうタウン	H13.12.06	19	923名
第2回	大阪市	コスモスクエア	H14.11.08	24	1,107名
第3回	広島市	海島博覧会場跡	H15.10.24	26	1,531名
第4回	名古屋市	名古屋市応急給水センター	H16.10.08	33	1,474名
第5回	佐賀市	どん3広場	H16.11.11	28	1,082名
第6回	塩竈市	JR本塩釜駅貨物ヤード跡地	H17.10.06	29	1,237名
第7回	小樽市	「小樽築港前駅」前JRヤード	H18.06.16	28	1,245名
第8回	松山市	城山公園内	H19.10.12	29	1,338名
第9回	三郷市	中川水循環センター	H20.10.9-10	28	2,346名
第10回	大阪市	コスモスクエア	H22.10.06	28	1,786名
第11回	福岡市	舞鶴公園西広場	H23.10.05	28	1,354名
第12回	新潟市	新潟市中央区鐘木地内	H24.10.03	34	1,236名
第13回	利府町	宮城県グランディ21	H25.10.04	37	1,204名
第14回	札幌市	ケーブデンキ月寒ドーム	H26.9.18	29	1,164名
第15回	倉敷市	児島下水処理場	H27.10.22	35	1,438名

〔デモ施工・展示説明の状況〕



写真－6



写真－8



写真－7



写真－9



写真－10



写真－14



写真－11



写真－15



写真－12



写真－16



写真－13

4. おわりに

この展示会は、毎年当協会の7支部の持ち回りで開催されており、2順目も終盤に差し掛かっている。

来年の開催場所は、関東支部の順番に当たり、関東支部にて検討が進められている。来年も多くの来場者が得られ、その地域に相応しい企画とするよう当該支部及び当協会内の「修繕・改築委員会」や「施工展運営委員会」等において検討してまいりたい。